

経営のヒント118 スターボックスに学べ！

自分の仕事を前年比で評価せよ！

「スターボックスに学べ！」ジョン・ムーア著...本にこんなことが書いていました！（210p）

自分の仕事を「前年比」で評価せよ！

意欲的なスターボックスのパートナーたちは、自分の仕事を前年と比較評価する人が多い。現時点の仕事ぶりとその前年の仕事を比較することで、職場に対して自分がどのように貢献しているのか詳しく評価することができるので、自分の仕事ぶりが上昇傾向にあるのか下降傾向にあるのか、総合的に判断することができる。

自分の仕事を客観的に表さなければならないとしたら、あなたはどうするだろうか？

前年と比べて今年は2%良いと自分でわかるだろうか。それとも20%良くなったと言えるだろうか。いや、前年と比べると悪くなっているだろうか。

次の勤務査定が行われる前に、自分の仕事を客観的に比較評価してみよう。

尺度には客観的で定量的なものもあれば、純粹に主観的で自分の判断一つで決まるものもある。それで構わない。

自分の仕事を前年のそれと比較するということは、自己評価の手段のひとつに過ぎない。

固定基準に照らしたやり方とは対照的で、自分の進歩を年単位で捉えるやり方である。

自分自身に対して正直になることがこの評価では非常に重要であり、10%や20%良くなったと思うかどうかではない。

自分の仕事を前年と比べるには、以下の質問に答えてみよう。

- ・前年に比べて今年度は会社の成功にどのくらい多く貢献したか？
- ・前年よりも責任を負うことが増えたか？
- ・自分の能力は会社の将来に前向きな効果を与えると、以前より自身をもって言えるだろうか？
- ・前年よりも多くのプロジェクトを主導、又はプロジェクトに参加したか？
- ・前年より重要度の高いプロジェクトにかかわったか？
- ・かかわったプロジェクトは、時間、予算、戦略の面で前年よりも上回ったか？
- ・前年よりも部下の人数が増えたか？
- ・新しいスキルを学ぶために前年にどんな行動をとったか？
- ・前年と比べ、従業員として、一人の人間として、同僚から尊敬を多く集めているか？
- ・前年に比べ、部下や同僚の人生に多くの変化をもたらしたか？

来年度に自分はどのような行動をとるべきかを定める！

前年よりも20%良くなっていたと思うなら、どうすればこの成長目標に到達できるか、自分でその答えを見つけなければならない。新しいスキルを学ぶためにセミナーへの参加、ビジネス書を読むのか、プロジェクトの参加なのか？

自分の仕事を過去のそれと比較する価値は軽視できるものではない。

業務上の活動に対する判断が向上するので、多くを習得し、成長のスピードが上がり、仕事もプライベートも充実した人生を送ることができるようになる。

<経営のヒント>

自らの進歩を年単位で捉える！・・・そんな仕組みを組織の中でどうやって創るのか？

次に、具体的な行動につながる目標設定・・・コーチングが必要不可欠ですね。